

2018/1/24

うときゅういっきの英語夜話（ことば夜話）

王 貞治

(Sadaharu Oh)



よく聴いていると、東京（とうきょう）のことを外国の方はたいてい「トキョ」と発音していることが多いようです。

英語表記で書くと TOKYO です。

同じように東急百貨店も英語表記で書くと TOKYU department store と表記して「トキュ」と発音しています。

「ん？なんで、やねん」

常々不識義に感じていました。

TOKYO（とーきょー）とか TOKYU（とーきゅー）とかちゃんと書いてあるのに、なんで？ところが、ある時、もう何十年も前のことですが、そのある時、テレビで巨人戦を見ていて王貞治の背番号1の上に「王」を「OH」と書いてあることに気づいたのです。

「王」は王と書いて、発音としては「おー」になります。

ということは、発音を延ばすときには「H」を入れればいいのかもしいかな？と思いました。

しかし、そのことは忘れてほったらかしになっていました。

ところが数十年たった現在、今から一か月前のある日、自分のビジネスパートナーの外国の人が東急スーパーマーケットの前で、「トキュ」と発音したので、そのことを突然思い出して、持っていた紙に

「Toh-kyuh super market」

と書いてあげたら、ちゃんと「とーきゅー」と発音してくれました。

それで、外国の方には、それ以降「Tokyo」なら「Toh-kyoh」と添え書きをして「発音の仕

方はこうなんだよ」と教えてあげると、そののちは、自分たち日本人がお互い「東京」という地名を呼ぶときに耳にする発音と同じ発音が外国方からも聞かれるようになりました。本当は、発音記号を使えば一番正しいのですが、外国の方だって発音記号なんて知りません。

外国の国語の先生でもない限り、はね。

それで、こういう方法を編み出したのです。

こうすれば、外国のひとが、日本人から「変な発音をする奴だ」と思われなくて済むし、日本のひとでも外国の人が日本語をちゃんと発音してくれたらうれしいし、親近感も沸くだろうから、いいのではないかと思ったわけです。

それで、このサービスをことあるごとに外国の人にできるようになったんですが、外国の方にこうしたサービスができるようになるのに数十年もかかってしまいました。

もう少し早く気が付けばよかったかな、と思っています。